

2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年4月28日
東・名

上場会社名 カゴメ株式会社 上場取引所
 コード番号 2811 URL <https://www.kagome.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山口 聡
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 佐伯 健（TEL）03-5623-8503
 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	41,723	2.1	2,183	9.0	2,038	△15.3	1,355	△15.9	4,212	—
2020年12月期第1四半期	40,863	2.6	2,003	25.6	2,407	46.8	1,611	42.0	△449	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	15.17	15.14
2020年12月期第1四半期	18.17	18.14

（注）事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を加えた、当社の経常的な事業の業績を測る利益指標です。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	222,402	113,651	111,804	50.3
2020年12月期	224,913	112,651	110,976	49.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	36.00	36.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	1.6	13,100	△3.7	13,300	24.5	8,800	18.5	98.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	94,366,944株	2020年12月期	94,366,944株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	5,028,023株	2020年12月期	5,027,707株
③ 期末発行済株式数(自己株式控除後)	2021年12月期1Q	89,338,921株	2020年12月期	89,339,237株
④ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	89,339,136株	2020年12月期1Q	88,687,521株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2019年12月期から3年間を対象とする中期経営計画のもと、「食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業」を目指しております。中期経営計画の基本戦略である①収益力強化の継続、②新事業・新領域への挑戦による成長に取組み、更なる企業価値の向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日）における売上収益は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることを背景に、健康志向の高まりや巣ごもり需要により堅調に推移しました。また、『野菜をとろうキャンペーン』の推進による国内における需要喚起の影響もあり、主に国内加工食品事業において、前年同期から増収となりました。国際事業については主にKAGOME INC.（米国）が、前期の新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ外食需要が回復基調にあることに伴い、増収となりました。

事業利益（※）は、国内加工食品事業において、『野菜をとろうキャンペーン』推進による広告宣伝費及び販売促進費の増加により減益となったものの、国際事業において、増収及び原価低減等により、前年同期から増益となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、前年同期比2.1%増の417億23百万円、事業利益は前年同期比9.0%増の21億83百万円となりました。営業利益は、前年同期に投資不動産売却による固定資産売却益があったことにより、前年同期比15.3%減の20億38百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比15.9%減の13億55百万円となりました。

※ 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を加えた、経常的な事業の業績を測る利益指標です。

セグメント別の業績の概況は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、セグメントの区分を変更しております。前期まで通販事業は国内加工食品事業の食品他に含めておりましたが、こちらを当社の成長期待事業として位置付けたことにより経営管理上の重要性が増したため、食品他から別掲をすることといたしました。

（単位：百万円）

セグメントの名称	売上収益			事業利益（△は損失）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
飲料	16,674	17,307	632	1,215	846	△368
通販	2,535	2,816	281	15	262	247
食品他	9,691	9,299	△391	439	206	△232
加工食品 計	28,900	29,423	522	1,669	1,315	△354
農	2,029	1,917	△111	△94	△177	△82
その他	232	281	48	75	△16	△91
消去及び調整(注1)	△0	△5	△4	—	—	—
国内事業 計	31,161	31,616	454	1,649	1,121	△528
国際事業	11,151	11,900	749	353	1,061	708
消去及び調整(注2)	△1,449	△1,793	△343	—	—	—
合計	40,863	41,723	859	2,003	2,183	179

(注) 1 国内事業内のセグメント間売上収益を消去しております。

2 国内事業と国際事業間のセグメント売上収益を消去しております。

<国内事業>

国内事業の売上収益は、前年同期比1.5%増の316億16百万円、事業利益は、前年同期比32.0%減の11億21百万円となりました。各事業別の状況は以下の通りであります。

① 加工食品事業

加工食品事業では、飲料や調味料等の製造・販売を手掛けております。

当事業における売上収益は、前年同期比1.8%増の294億23百万円、事業利益は、前年同期比21.2%減の13億15百万円となりました。

[飲料：「野菜生活100」シリーズ、トマトジュース、野菜一日これ一本、他]

野菜飲料においては、日本における野菜摂取量を「あと60g増やす」ことを目指した『野菜をとろうキャンペーン』を推進し、積極的に広告を投下しました。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による健康に対する関心の高まりもあり、飲用機会の増加につながりました。「野菜生活100」シリーズにおいては、「野菜生活100 Smoothie ビタミンスムージー」を3月に発売し、好調に推移しました。また、「野菜一日これ一本」についても、好調に推移しています。

以上により、飲料カテゴリーの売上収益は、前年同期比3.8%増の173億7百万円、事業利益は、主に『野菜をとろうキャンペーン』の展開による広告宣伝費の増加により、前年同期比30.3%減の8億46百万円となりました。

[通販：野菜飲料、サプリメント、スープ等の通信販売]

通販カテゴリーでは、主に、野菜飲料、サプリメント、スープなどの製造・販売を行う通信販売「健康直送便」を手掛けております。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う通販チャネル利用の拡大及び健康志向の高まりにより、つぶより野菜などの野菜飲料、スルフォラファンなどのサプリメント、スープなどが好調に推移しました。

以上により、通販カテゴリーの売上収益は、前年同期比11.1%増の28億16百万円となりました。事業利益は、2億62百万円(前年同期は事業利益15百万円)となりました。

[食品他：トマトケチャップ、トマト系調味料、ソース、贈答用製品、他]

食品カテゴリーにおいては、当期はトマトケチャップやパスタソースが好調を維持しておりました。しかしながら、主に3月以降、前期のコロナ禍における内食の特需があったことの反動があり、前期を下回りました。

業務用カテゴリーにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食需要の回復が遅れており、前期を下回っております。

以上により、食品他カテゴリーの売上収益は、前年同期比4.0%減の92億99百万円、事業利益は、前年同期比53.1%減の2億6百万円となりました。

② 農事業

農事業では、主に生鮮トマト、ベビーリーフ等の生産・販売を手掛けております。なお、2021年1月1日に当社農事業を会社分割によりカゴメアグリフレッシュ株式会社に移管し、同社を農セグメントの中核会社としております。

当第1四半期連結累計期間は、生鮮トマトの市況価格の低迷により販売単価が低下したことにより、売上収益、事業利益ともに前期を下回りました。

この結果、当事業の売上収益は、前年同期比5.5%減の19億17百万円、事業損失は1億77百万円(前年同期は事業損失94百万円)となりました。

③ その他事業

その他事業には、不動産事業、業務受託事業が含まれております。

売上収益は、前年同期比21.1%増の2億81百万円、事業損失は16百万円(前年同期は事業利益75百万円)となりました。

<国際事業>

国際事業では、トマトの種子開発から農業生産、商品開発、加工、販売事業を展開しております。

主な子会社における現地通貨建業績の概要は以下の通りです。KAGOME INC.（米国）においては、前期は新型コロナウイルス感染症拡大影響による外食需要の落ち込みにより、出荷量が大きく減少しましたが、外食需要の持ち直しに伴う出荷量の回復に加え、生産性向上による原価低減により、増収増益となりました。Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A.（ポルトガル）は、前期に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い食品メーカー向け販売が好調に推移した反動により減収となりましたが、前期と比較して販売価格が上昇したことなどにより、増益となりました。Kagome Australia Pty Ltd.（豪州）は、ニンジン濃縮汁の生産規模拡大に伴い、グループ向け販売が増加したことにより、増収増益となりました。United Genetics Holdings LLC（米国）は、主に欧州、トルコにおける種子販売が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

以上により、当事業における売上収益は、前年同期比6.7%増の119億円、事業利益は、前年同期比約3倍増の10億61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間は、資産合計につきましては、前期末に比べ25億10百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、前期末に比べ66億85百万円減少いたしました。

これは、「棚卸資産」が11億25百万円増加したものの、「現金及び現金同等物」が、配当金や法人所得税の支払いなどにより63億15百万円、「営業債権及びその他の債権」が19億49百万円、それぞれ減少したことによります。

非流動資産につきましては、前期末に比べ41億74百万円増加いたしました。

これは、主に当社の製造設備の更新などにより「有形固定資産」が27億99百万円、保有株式の時価の上昇などにより「その他の金融資産」が17億37百万円、それぞれ増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ35億11百万円減少いたしました。

これは、主に「営業債務及びその他の債務」が22億26百万円、「未払法人所得税」が17億13百万円、それぞれ減少したことによります。

資本につきましては、前期末に比べ10億円増加いたしました。これは、剰余金の配当により32億19百万円減少したものの、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」により13億55百万円、主に主要通貨に対する円安が進行したことにより、「その他の資本の構成要素」が26億73百万円、それぞれ増加したことによります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は50.3%、1株当たり親会社所有者帰属持分は1,251円47銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、504億52百万円となり、前連結会計年度末比で63億15百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億42百万円の純収入（前年同期は7億60百万円の純収入）となりました。この主要因は、税引前四半期利益が20億26百万円となったこと、減価償却費及び償却費が17億66百万円となったこと、営業債権及びその他の債権が23億61百万円減少したこと（以上、キャッシュの純収入）、棚卸資産が59百万円増加したこと、営業債務及びその他の債務が28億48百万円減少したこと、法人所得税等の支払いにより22億98百万円支出したこと（以上、キャッシュの純支出）によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、33億54百万円の純支出（前年同期は13億53百万円の純収入）となりました。この主要因は、有形固定資産及び無形資産の取得（投資不動産含む）により33億47百万円支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、49億75百万円の純支出（前年同期は130億15百万円の純収入）となりました。この主要因は、短期借入金の純減少により36億28百万円、配当金の支払いにより31億44百万円、それぞれ支出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月3日の「2020年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」にて公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、現在の連結業績予想は、本四半期決算短信提出日時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、連結業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	56,768	50,452
営業債権及びその他の債権	40,104	38,154
棚卸資産	42,304	43,430
未収法人所得税	180	160
その他の金融資産	407	871
その他の流動資産	1,800	1,811
流動資産合計	141,567	134,881
非流動資産		
有形固定資産	52,571	55,370
無形資産	3,546	3,601
その他の金融資産	14,795	16,533
持分法で会計処理されている 投資	7,176	7,346
その他の非流動資産	3,325	3,285
繰延税金資産	1,930	1,382
非流動資産合計	83,345	87,520
資産合計	224,913	222,402
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	33,681	31,455
借入金	47,465	45,751
未払法人所得税	2,851	1,137
その他の金融負債	810	920
その他の流動負債	7,429	7,251
流動負債合計	92,238	86,515
非流動負債		
長期借入金	5,459	7,614
その他の金融負債	3,655	3,627
退職給付に係る負債	5,755	5,725
引当金	1,088	1,056
その他の非流動負債	872	884
繰延税金負債	3,190	3,326
非流動負債合計	20,023	22,235
負債合計	112,261	108,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)
資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	22,723	22,787
自己株式	△12,351	△12,352
その他の資本の構成要素	2,888	5,562
利益剰余金	77,730	75,822
親会社の所有者に帰属する持分	110,976	111,804
非支配持分	1,674	1,846
資本合計	112,651	113,651
負債及び資本合計	224,913	222,402

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	40,863	41,723
売上原価	26,229	26,351
売上総利益	14,634	15,372
販売費及び一般管理費	12,551	13,180
持分法による投資損益(△は損失)	△79	△7
事業利益	2,003	2,183
その他の収益	800	97
その他の費用	396	242
営業利益	2,407	2,038
金融収益	186	266
金融費用	145	278
税引前四半期利益	2,448	2,026
法人所得税費用	902	596
四半期利益	1,546	1,429
四半期利益の帰属		
親会社所有者	1,611	1,355
非支配持分	△65	74
合計	1,546	1,429
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	18.17	15.17
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	18.14	15.14

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益	1,546	1,429
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△752	265
持分法適用会社のその他の包括利益 持分	22	△44
合計	△730	221
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△682	773
ヘッジコスト	318	424
在外営業活動体の換算差額	△901	1,360
持分法適用会社のその他の包括利益 持分	△0	3
合計	△1,265	2,561
その他の包括利益(税引後)合計	△1,995	2,782
四半期包括利益(△は損失)	△449	4,212
四半期包括利益の帰属		
親会社所有者	△306	4,040
非支配持分	△142	172
合計	△449	4,212

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素					合計
				確定給付 制度の 再測定	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する 金融資産 の純変動	キャッ シュ・ フロー・ ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	
2020年1月1日残高	19,985	22,669	△13,529	—	4,410	△226	944	△1,539	3,589
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	22	△752	△682	318	△824	△1,918
四半期包括利益	—	—	—	22	△752	△682	318	△824	△1,918
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△17	—	—	△17
自己株式の取得	—	△1	△1,208	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	91	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬	—	17	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	△1	—	△22	—	—	—	—	△22
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	14	△1,116	△22	—	—	—	—	△22
2020年3月31日残高	19,985	22,683	△14,646	—	3,657	△925	1,262	△2,364	1,630

(単位:百万円)

	親会社の所有者に 帰属する持分		非支配 持分	資本合計
	利益 剰余金	合計		
2020年1月1日残高	75,629	108,344	3,041	111,386
四半期利益	1,611	1,611	△65	1,546
その他の包括利益	—	△1,918	△77	△1,995
四半期包括利益	1,611	△306	△142	△449
非金融資産等への振替	—	△17	—	△17
自己株式の取得	—	△1,210	—	△1,210
自己株式の処分	—	91	—	91
剰余金の配当	△3,113	△3,113	—	△3,113
株式報酬	—	17	—	17
利益剰余金への振替	24	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△3,089	△4,214	—	△4,214
2020年3月31日残高	74,151	103,805	2,899	106,704

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素					合計
				確定給付 制度の 再測定	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する 金融資産 の純変動	キャッ シュ・ フロー・ ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	
2021年1月1日残高	19,985	22,723	△12,351	—	4,654	25	655	△2,446	2,888
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△44	265	773	424	1,265	2,684
四半期包括利益	—	—	—	△44	265	773	424	1,265	2,684
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△55	—	—	△55
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬	—	63	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	44	—	—	—	—	44
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	63	△1	44	—	—	—	—	44
2021年3月31日残高	19,985	22,787	△12,352	—	4,919	743	1,079	△1,180	5,562

(単位:百万円)

	親会社の所有者に 帰属する持分		非支配 持分	資本合計
	利益 剰余金	合計		
2021年1月1日残高	77,730	110,976	1,674	112,651
四半期利益	1,355	1,355	74	1,429
その他の包括利益	—	2,684	97	2,782
四半期包括利益	1,355	4,040	172	4,212
非金融資産等への振替	—	△55	—	△55
自己株式の取得	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	—
剰余金の配当	△3,219	△3,219	—	△3,219
株式報酬	—	63	—	63
利益剰余金への振替	△44	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△3,263	△3,156	—	△3,156
2021年3月31日残高	75,822	111,804	1,846	113,651

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,448	2,026
減価償却費及び償却費	1,689	1,766
受取利息及び受取配当金	△146	△122
支払利息	101	127
持分法による投資損益(△は益)	79	7
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△623	219
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,197	2,361
棚卸資産の増減額(△は増加)	△205	△59
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,770	△2,848
その他	△676	△249
小計	2,095	3,228
利息及び配当金の受取額	123	112
利息の支払額	△90	△299
法人所得税等の支払額	△1,367	△2,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	760	742
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による 支出(投資不動産含む)	△1,158	△3,347
有形固定資産の売却による収入 (投資不動産含む)	3,097	32
事業譲受による支出	△499	—
関係会社株式及び出資金の取得による 支出	△10	△65
その他の金融資産の取得による支出	△228	△14
その他の金融資産の売却及び償還による 収入	155	36
その他	△4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,353	△3,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	17,843	△3,628
長期借入による収入	134	2,211
長期借入金の返済による支出	△636	△243
リース債務の返済による支出	△191	△169
配当金の支払額	△3,019	△3,144
自己株式の純増減額(△は増加)	△1,116	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,015	△4,975
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,128	△7,587
現金及び現金同等物の期首残高	27,260	56,768
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	△526	1,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,863	50,452

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内において、飲料や調味料の製造・販売を行っている加工食品事業、トマトを中心とした生鮮野菜の生産・販売を行っている農事業の2つを主たる事業としております。また、トマトの種子開発から農業生産、商品開発、加工、販売までの垂直統合型ビジネスを国際事業として展開しております。なお、当社グループは製品、顧客等の要素及び限界利益率等の経済的特徴の類似性を考慮し、飲料、通販及び食品他については事業セグメントを集約して「加工食品」を報告セグメントとしております。

したがって、当社グループは国内事業である「加工食品」、「農」、「その他」及び「国際事業」の4つを報告セグメントとしております。

また、セグメント利益は、「事業利益(※)」であり、取締役会は事業利益に基づいて事業セグメントの業績を評価しております。

なお、当連結会計年度に国内農事業の戦略等の意思決定の迅速化、経営資源の集中と効率的な活用、強固なガバナンス体制の確立等を目的として、当社農事業を会社分割により連結子会社であるカゴメアグリフレッシュ株式会社に移管し、同社を農セグメントの中核会社としております。

これに伴い、前連結会計年度以前は、当社共通費用の一部を売上収益等の合理的な基準により農セグメントに配賦しておりましたが、当連結会計年度は、当社共通費用の農セグメントへの配賦はしていません。また、当該セグメントの組織変更に伴い、直接費の取扱いについても変更が生じております。

※「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えた、経常的な事業の業績を測る利益指標です。

各報告セグメントの主要な製品は、以下の通りであります。

セグメントの名称	主要製品及び商品等
飲料	野菜生活100シリーズ、トマトジュース、野菜一日これ一本、他
通販	野菜飲料、サプリメント、スープ、他
食品他	トマトケチャップ、トマト系調味料、ソース、贈答用製品、他
加工食品	
農	生鮮トマト、ベビーリーフ等
その他	不動産事業、業務受託事業
国内事業	
国際事業	トマトの種子開発・農業生産、商品開発、加工、販売

(2) 報告セグメントの売上収益及び業績

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	国内事業					国際事業	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	加工食品	農	その他	調整額 (注1)	計			
売上収益								
外部顧客に対する 売上収益	28,900	2,029	231	—	31,161	9,701	—	40,863
セグメント間の内部 売上収益及び振替高	—	—	0	△0	—	1,449	△1,449	—
売上収益合計	28,900	2,029	232	△0	31,161	11,151	△1,449	40,863
事業利益(△は損失)	1,669	△94	75	—	1,649	353	—	2,003
その他の収益								800
その他の費用								396
営業利益								2,407
金融収益								186
金融費用								145
税引前四半期利益								2,448

(注) 1 国内事業内のセグメント間売上収益を消去しております。

2 国内事業と国際事業間のセグメント売上収益を消去しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	国内事業					国際事業	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	加工食品	農	その他	調整額 (注1)	計			
売上収益								
外部顧客に対する 売上収益	29,423	1,917	275	—	31,616	10,107	—	41,723
セグメント間の内部 売上収益及び振替高	—	—	5	△5	—	1,793	△1,793	—
売上収益合計	29,423	1,917	281	△5	31,616	11,900	△1,793	41,723
事業利益(△は損失)	1,315	△177	△16	—	1,121	1,061	—	2,183
その他の収益								97
その他の費用								242
営業利益								2,038
金融収益								266
金融費用								278
税引前四半期利益								2,026

(注) 1 国内事業内のセグメント間売上収益を消去しております。

2 国内事業と国際事業間のセグメント売上収益を消去しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。